

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(主)戸隠篠ノ井線				
事業毎の通番		2	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	折橋(おりはし)			
事業概要	事業目的	当該路線は長野市鬼無里地区から長野市戸隠地区を結ぶ重要な幹線道路であり、戸隠地区の観光地へ通じる道路である。しかし、現道は幅員狭小のため、交通の難所であり、特に観光シーズンの通行に支障をきたしている。県防災計画の2次緊急輸送路線でもあるため、拡幅を行うものである。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：988台/日(H42推計)							
	着手年度	平成28年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.26		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=200m、W=5.5(7.0)m			150,000	90,000		54,000	6,000
年度事業内容(主な工種)	測量設計 一式			5,000	3,000		1,800	200	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 1.8億円 緊急輸送路(2次)の整備							
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興							
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路はあるが安全性が低い ○交通結節点アクセス：市営バス路線 ○観光地アクセス：観光地に通じる道路(篠ノ井～戸隠宝光社、中社、奥社) ○地域の活性化：戸隠診療所及び保健センターへ連絡する道路						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：暮らしを支える道路網の整備、災害に強い道路等の整備 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(2次) ○地域指定：信越観光圏域、振興山村、過疎地域、特別豪雪地帯、積雪地域に指定						評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.26 ○事業期間：4年間(H28～H31) ○代替案の検討：あり ○他事業との連携：なし						評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：H22 1件(車対車)、H25 2件(車対車) ○危険箇所対策：雪崩危険箇所(折橋) I-391 ○歩道整備：整備なし ○道路構造：現況幅員3.5～4.0m 曲線部の拡幅なし						評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：事業説明文を計画地である折橋区に全戸回覧し、事業について住民に周知 ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(区要望、支所要望) ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られ、一部地権者から同意を得ている ○住民との協働：住民独自の沿道草刈りの取り組みがある						評価	B
	部意見	事業の必要性、重要性が高いため、平成28年度から事業化したい。	行政改革課意見	現道は幅員狭小ですれ違いも困難な状況にあり、県の緊急輸送道路に指定されていることから、必要性、重要性が認められる。			評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】

位置図



平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該路線は、戸隠と篠ノ井を結ぶ幹線道路である。国道406号から戸隠支所等中心地或いはバードラインへ抜ける車両が多く通行している。折橋地区の一部は未改良で幅員が狭く車輦(特に大型車)の通行に支障をきたしている。また、長野県地域防災計画の第2次緊急輸送路に指定されているが、幅員が狭く、通行に支障をきたしている状況にあることから、道路拡幅事業の早期実施が求められている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成27年7月 折橋区からの要望	
③事業説明等の経緯	平成27年9月 事業説明文を折橋区全戸回覧	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画書(第2次 緊急輸送路)	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	切土、盛土を最小限として地形形状の変更を極力抑える計画とする予定	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより、篠ノ井～戸隠間の観光交流活性化が期待できる。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 41' 29" 東経:E 138° 4' 47"